

科目番号	52031	分類	助産診断技術学	履修者	高度実践助産コース	学年	1		
科目名	助産診断・技術学演習 (Practice of Midwifery skills)						1		
							配当セメスター 前期		
担当者	○渡邊香 他8名	区分	助産師免許取得プログラム	必修	必修	単位	3	時間数	90
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
<p>【概要】 妊娠・分娩・産褥期にある女性の身体的・心理的・社会的変化について学び、適切な助産診断とケアを行うための知識と技術を学ぶ。妊産褥婦のセルフケア能力の向上や出産準備を目的とした保健指導計画について理解し、ロールプレイを通して基本的な保健指導の技術を修得する。</p> <p>【目標】 1. 妊産褥婦の健康状態、正常な妊娠経過と正常からの逸脱について根拠をもって助産診断することができる。 2. 妊娠・分娩・産褥期の助産過程の展開に必要な技術（問診、計測診、胎児心拍数モニタリング、超音波検査など）を実践できる。 3. 科学的根拠に基づいた分娩介助法と助産ケアについて実践できる。 4. 健康教育案立案から評価までの過程を理解し、ロールプレイを通して保健指導の実践方法について実践できる。 5. 母乳哺育に関するケアの基本的知識を説明でき、乳房ケア技術が実践できる。</p>						○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
						○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
						○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
						○	4.周産期の救急時に対応できる能力		
						○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
							6.研究・開発能力		
						○	7.倫理的意思決定能力		
授 業 計 画									
回	内 容					担当教員			
第1回	助産診断とは					渡邊 他8名			
第2・3回	妊婦健診の助産技術①②								
第4・5回	助産診断①（妊婦の助産過程）								
第6・7回	助産診断②（妊婦の助産過程、演習）								
第8回	保健指導の概要								
第9・10・11回	妊娠期の保健指導（初期、中期、末期）								
第12・13回	分娩期の助産技術（産痛のメカニズムと緩和法演習）								
第14・15回	分娩期の助産技術（分娩進行に応じた産婦への援助）								
第16・17回	助産診断③（産婦の助産過程）								
第18・19回	助産診断④（産婦の助産過程、演習）								
第20・21回	正常分娩介助法（原理・デモンストレーション）								
第22・23・24・25・26回	分娩介助法（演習・シュミレーション）								
第27・28回	産褥期の助産技術（乳房管理、演習）								

第29回	母乳育児支援の技術（判断、抱き方、吸着、等）	渡邊 他8名
第30・31回	助産診断⑤（褥婦・新生児の助産過程）	
第32・33回	助産診断⑥（褥婦・新生児の助産過程、演習）	
第34・35回	胎児心拍数陣痛図による胎児診断（演習）	
第36・37回	助産師のための超音波検査（演習）	
第38・39・ 40・41回	分娩介助技術チェック	
第42・43回	母子の保健指導の方法	
第44・45回	母子の保健指導の実施	
事前・事後 学習	事前学習：教科書の該当する箇所の予習を行うこと。 事後学習：講義と配布資料を基に復習する。	
評価の方法	課題 50% 演習・討議への参加状況 50%	
参考図書 ・資料等	<p>◎助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ(2)分娩・産褥期 第6版 我部山キヨ子他 医学書院 ◎助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ(3)新生児期・乳幼児期 第6版 我部山キヨ子他 医学書院 ◎赤ちゃんとお母さんにやさしい母乳育児支援—助産師のための「母乳育児成功のため 10 カ条とその後に」の実践ガイド 日本助産師会出版 ◎乳腺炎ケアガイドライン 2020 日本助産師会出版 ・助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア新生児期・乳幼児期のケア 2023 日本看護協会出版 参考図書は適宜紹介する。</p> <p style="text-align: right;">◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。</p>	
備考	<p>オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。 *講義内容の順については変更あり</p>	